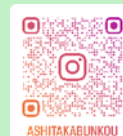


# 愛鷹分校 学校だより

学校HP 学校Instagram



令和8年 3月 19日発行

愛鷹分校では3月9日に卒業式を終え、卒業生が社会へと巣立っていきました。

2月の企業向け見学会では、生徒の働く姿勢が高く評価され、職場実習の拡大につながる貴重な機会となりました。これからも生徒の夢の実現に向け、今後も地域・企業との連携を一層深めてまいります。

(副校長 植松)

## <学校運営協議会>

2月18日に本年度最終の協議会を開催し、委員の皆様と来年度の方向性を語り合いました。地域の力を学校運営に活かし、以下の取り組みを進めてまいります。

### <新しい熟議のカタチ>

夏には、保護者・教員と「ワーク地域」の取り組みを共有する「パネルディスカッション」を開催します。

### <地域のネットワークを教育に>

委員の皆様をつながりを通じて、企業等へ本校を紹介いただいたり、地域の視点から助言をいただいたりすることで、生徒の夢を応援します。

### <「勇気ある引き算」で教育の質を向上>

学校の目標を分かりやすく「見える化」するとともに、業務を整理（勇気ある引き算）し、教員が生徒一人一人と向き合う時間を大切にします。

### <生徒の声を大切にする学校運営>

生徒自身が「学校をどう感じているか」をアンケート等で把握し、生徒の意欲や主体性を尊重した学校づくりを目指します。

(副校長 植松)



## <企業向け学校見学会>

2月9日(月)に企業向け学校見学会を行いました。これから障害者雇用を進めていきたい企業や卒業生を雇用していただいている企業、福祉事業所や関係機関など、19社、5事業所、総勢42名の方々に参加していただきました。愛鷹分校の教育方針や進路指導について紹介し、ワーク工房での生徒の様子を見学していただきました。また、沼津公共職業安定所の担当者から障害者雇用率制度や各種助成金について、障害者就業・生活支援センターひまわりの担当者から事業内容や定着支援について御講演をいただきました。企業の方々からは、「生徒がやる気に満ちていて、素直で一生懸命な姿に感心しました。」「自分の意思を持って様々なことに前向きに取り組んでいる姿が印象的で、将来一緒に働きたいと感じるきっかけとなりました。」などの感想をいただきました。今後も企業の方、関係機関、保護者の方とも連携して、生徒の夢の実現をサポートしていけるようにしたいと思います。

(進路指導主事 米山)

## <地域とつながる、未来とつながる>

### 「先輩から学ぼう」

1月22日(木)、卒業生を招いて「先輩から学ぼう」が行われました。今の仕事や生活について、リアルな声を聞き、生徒たちは熱心にメモを取りながら話を聞いていました。お忙しい中、話をしてくださった、5人の先輩のみなさん、ありがとうございました。



### 「ワーク地域の保護者見学」

学校周辺の企業の御協力を得て、生徒が仕事をする「ワーク地域」を保護者の方が見学する機会を設けました。参加いただいた保護者の感想を紹介します。

#### <保護者の方からの感想>

- ・ワーク地域の日は日誌で様子を知ることができますが、実際に職場で働いているところを見て、落ち着いて真剣に取り組んでいる姿が伝わり、安心したと同時に成長を感じました。
- ・週1回とはいえ数カ月の間、数人単位の実習のように貴重な経験をさせてもらえてありがたいです。得手不得手はあるものの、徐々に作業に慣れ、相談、協力しながら真剣に頑張っている姿が見られてよかったです。

参加して下さった保護者の方、見学を受け入れて下さった企業の方々ありがとうございました。



## <3年生の夢が形に!「世界に一つだけのカップラーメン」>

3年生が企画した「世界に一つだけのカップラーメンを作ろう」がドリームプロジェクトに採択され、実施されました。にしはらグループ様の御協力を得て、自分たちが食べたい味を追求するだけでなく、静岡特産のサクラエビやお茶などの地元の食材を取り入れた、郷土愛あふれるアイデアが光りました。自分たちのアイデアが形になる喜びを実感した、貴重な体験となりました。(部主事 瀬戸)



(株)にしはらグループ社長 西原様と

## <愛鷹分校 生徒の輝き 作業学習 ワーク工房>



3月9日ぐるめ街道 万葉の湯様で、販売会を行いました。お客様に製品の説明やアピールをして関わることができました。



今年度から立ち上げた園芸工房は、1年生のみの工房です。つまみ細工でコースージュを作り、卒業生にプレゼントしました。卒業生の門出を祝いました。